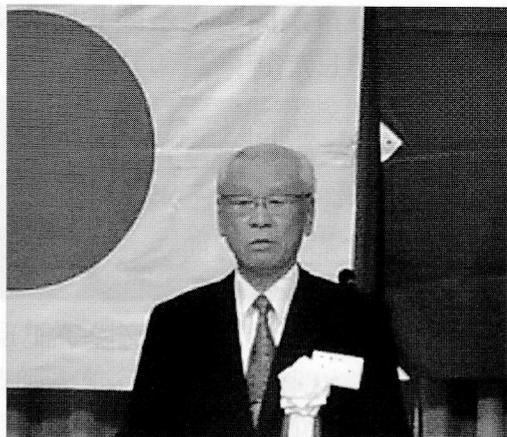


東京牧村会第27回総会・ 懇親会開催

郷里・友誼団体代表らを招き和やかに



ご挨拶の鈴木 勉会長

10月22日午前11時30分秋晴れの絶好の日和のなか、上野精養軒3F 桜の間の大宴会場にご来賓19名を含む70余名の参加者で、村山富雄会長と筆者も招かれ出席させていただきました。

同会は早くからホームページを開設し、会報も全ページカラーで他の郷人会の追従を許さない立派な冊子を刊行されている。

第1部総会は羽深慎一副会長の司会・進行で進められました。

冒頭鈴木勉会長は世の辛いニュースに胸が痛みます。米どころで育てられた私たちにできること「一粒の米も大事に食べることを実践したいと貧困に苦しむ世界に思いをいたし、平和な世の中を大事にしたいと述べて開会挨拶とされた。

ご来賓の祝辞のあと事務局担当の前山正子副会長がご来賓紹介をされた。議事は活動報告の承認、事業計画予算を承認して総会を終了。

第2部交流・懇親会は轟貴美江広報部長

の司会で進められました。パネルでは会員や郷里の皆様の写真などの作品が展示され、万事そつない運営でした。

同会は一流芸能人をゲストに呼ばれるので有名ですが、鈴木会長はご来賓をお招きしての久しぶりの会なので自前にさせていただきました。

郷里の物産の販売品も豊富で安価。筆者も何品か求めて帰ったが切り餅の美味しさは格別でした。

祝辞のあと乾杯で祝宴に入る。はずれなし豪華賞品が当たる抽選会もテーブル毎にするなど工夫があった。

アトラクションはどこの郷人会も話す時間を大事にとほとんど行われないが、大塚克美副会長の指揮で牧村村民歌や校歌など全員で大合唱。一気に盛り上がった。

最後、折笠定勝副会長の閉会の辞で散会した。

筆者は設立時から参加させて頂いている。名物村長の中川耕平氏、岡一二前会長の姿がなく春日寛十日町会会長と顔見知りが見え、段々少なくなるねえとちょっとしんみり、卒寿でも招かれ旧友と会う機会に恵まれ、幸せであった。

高橋秀夫(永世会長)



東京牧村会
会報第27号
(9月発行)



黒倉地区収

実りの秋。紅
収穫祭と新そば
日、黒倉交流セ
地元でとれた魅
く加工された品
られた手打ちそ
が提供されまし



美味しい品を前



和太鼓「鼓夢の